

# 邦人救出に装甲車部隊

## 海外テロ想定 陸自、宇都宮で創設へ

陸上自衛隊は、海外でテロ事件などに巻き込まれた邦人を救出する事態に備え、装甲車部隊を創設する方針を固めた。20両程度の編成で、海外の任務に対応する中央即応連隊(宇都宮市)へ配備する計画だ。

配備する装甲車は車体の

底がV字形になっているのが特徴で、道路などに仕掛けられた爆弾が爆発しても、爆風を分散させて威力を和らげられるという。今年、試験的に導入した豪州製の装甲車(全長約7メートル、10人乗り)4両と、来年度に購入する4両を配備し、国

内企業が開発中の車両も導入を検討しているという。2013年1月にアルジエリアの天然ガス関連施設が武装集団に襲撃され、日本人らが人質になった事件を機に、自衛隊法が改正され、邦人の陸上輸送が可能になった。また、安全保障

関連法で、武装集団などに襲われた国連関係者らを救助する「駆けつけ警護」や、



陸上自衛隊が導入した邦人輸送用の装甲車

人質となった邦人救出などの任務が加わり、同部隊の活用を検討する。

◇ 17日には、新たに配備する装甲車を使った邦人輸送訓練が群馬県の演習場で行われ、報道陣に初めて公開された。

陸自へリ納入中止  
富士重の勝訴確定

国に35億円支払い命令

陸上自衛隊の戦闘ヘリコプター納入を巡り、防衛省の調達打ち切りで初期費用